

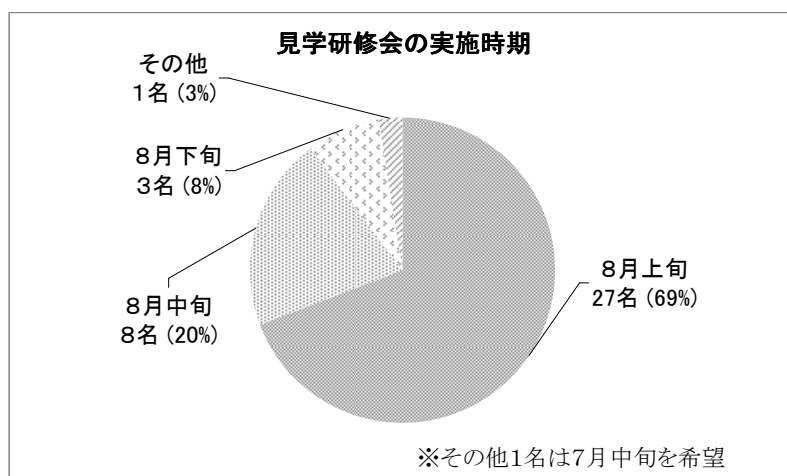
春季研究大会アンケート集計結果

数学部会事務局

平成 24 年度春季研究大会において、事務局より「見学研修会」及び「研究大会講演」に関するアンケートを実施し、39 名の方々から回答をいただきました。その結果をご報告いたします。

1 見学研修会について

(1) 次回の実施はいつ頃がよいですか？ (有効回答数 39 名)



(2) 次回の訪問先はどこがよいですか？

大学では、千葉大学 (3 名)、千葉工業大学 (2 名)、県内の大学 (2 名)、日本大学理工学部、東京理科大学のご希望をいただきました。

その他、次のようなご意見をいただきました。

- 最先端の技術を見たい
- 大学院や文科省に訪問してみたいです
- ビデオリサーチ、Tpoint、WAON、PONTA(データリサーチの活用と意義がわかる会社)
- KEK(高エネルギー加速器研究機構)
- IBM
- テーブルや机があるところ (大学とか)

(3) 次回の講座 (講演・講義・実習) はどのようなものがよいですか？

次のようなご意見をいただきました。

- 大学 1 年生が受ける数学の授業
- 今回のような興味をもつことのできるもの
- データの活用と情報教育
- 統計の研修
- 講演・講義がよい

- 今回の講演のように、数学に直接関係のある内容が良い
- 新課程実施(開始)されてからの現状と課題、ゆとりとの比較、良さ
- 講演で、学校に帰って生徒に話せるようなものが良い
- 学力困難校の数学授業のあり方について
- 高校入試または大学入試に関するもの
- ロボットなどの先端技術などについて
- コンピュータ関連
- 新井先生の講演はよかったので、このような講演

2 研究大会講演について

(1) 次回の講演内容はどのようなものがよいですか？

次のようなご意見をいただきました。

- 大学、さらに社会において数学がどのように使われるか、具体例を示してくれると良い
- 例年通りが良い
- 基礎・基本の定着について、キャリア教育との関連について
- 数学の歴史について
- 今回のように興味をもてるもの
- グラフ理論、フーリエ変換
- 各学校の課題学習の取り扱いについて
- データ活用やファジィ理論
- 学力困難校での授業での取り組みについて
- 「数学嫌いな生徒をいかにして興味を教えさせるのか」のような内容
- 普段の授業に取り入れられるような課題・小テストの実践報告
- 専門学科になってしまいますが、運動研究発表の内容等(数学分野での)
- 数学史や関係する話
- 新学習指導要領の移行と改訂におけるポイント
- 統計に関する講義
- 「数学の授業を楽しくするにはどうすればいいか」のヒントが得られるような内容
- 数学的活動について
- 授業のネタに使えそうな話

(2) 次回の講演者は誰がよいですか？ お名前・所属をお書きください。

次のようなご意見をいただきました。

- 内田樹先生(神戸女子大学)
- これからの若い先生が関心をもてる人にして欲しい(誰でも)
- ファジィなら稲田先生(日本大学理工学部)だったかな？
- 市川伸一先生(東京大学教授)

アンケートにご協力いただいた先生方、ありがとうございました。